

公表 2020年 3月 2日

事業所名 サポートセンターPASSO

チェック項目	はい	いいえ	工友している点	職員や子育て支援者等が実施している点
増強・補強整備				
1 利用定員が施設訓練室等スペースとの関係で確保されている	4		活動後の工友や、準備が重ならないよう工夫を怠りません。	ご利用者様や保護者様から迅速に聞こえるよう、スペースの確保や備品の配置などにおいて、可能な限り工夫を怠りません。
2 職員の配置数は適切である	1		1人1人の職員を専任で配置しています。	職員の専門性を高めるため、内部、外部の研修等を通じて自己研鑽に努めます。
3 事業所の設備について、リアリティーの配置が適切にされている	1		個別療育の観点から、お一人お一人に合わせた環境を設定しています。また、活動ごとに空間を使い分けるよう配慮しています。	どこで何をすることがかかるといえるよう、活動と場所を使い分け、何をやる場所化を視覚的に把握できるようにしています。
4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	2		スタッフミーティングを定期的に実施し、スタッフ一人一人の課題を把握しています。	事業所全体や法人内での他の事業所と連携を行う中で、業務改善に努めています。
5 保護者向け実地研修を活用する等によりアンケート調査を通じて保護者等の意向を把握し、業務改善につなげている	3		毎年、1月ごとに保護者様アンケートを実施しています。	今後も、毎年アンケートを実施し、業務改善に努めています。
6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3		先のアンケートをまとめ、HPに公開しています。	今後も、毎年アンケートや事業所の詳細を実施し、業務改善に努めています。
7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1		保護者へのアンケートや、部内での他の事業所職員による事業所の評価を行っています。	
8 職員が意欲向上を行うために、研修の機会を確保している	4		事業所内、部内、法人内の様々な研修を実施しています。また、外部への研修の参加も積極的に確保しています。	職員の専門性を高めるため、内部、外部の研修等を通じて人材育成や自己研鑽に努めます。
9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を定期的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3		年度初めにTMAPの検査を実施しています。また、療育を通してSDM対応のプログラムのアセスメントも行って、その詳細を指導者に届けています。	今後も継続して、アセスメント結果を踏まえて、保護者様と連携して行うと共に、アセスメントに基づいた放課後等デイサービス計画を作成するよう努めています。
10 子どもと保護者の状況を把握するために、標準化したアセスメントツールを使用している	3		上記に同じ。	上記に同じ。
11 活動プログラムの立案チームで行っている	4		担当スタッフとスーパーバイザーのスタッフで一緒に考えています。新しい発想の工夫や活動の用意した際には、スタッフ同士で共有しています。	毎週、お子さまの興味心や好みを取りながら、療育プログラムを立案するよう努めます。又、立案した療育プログラムの意図や目的を保護者様と共有できるように、説明を行うことを心がけます。
12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		新しい発想活動や実地研修について、インターネットなどを参考に考え、手順を作成しプログラム構築しています。	職員のみなさん、保護者様同士の交流の場の確保等も提供して頂くよう努めます。
13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細かに設定して実施している	1		休日の活動では、活動時間を長くしたり、課題や外出を設定することもあります。	放課後等デイサービス計画に基づき、ご利用者様に合わせた課題設定を行います。
14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を柔軟に組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	3		ご利用者様の放課後等デイサービス計画に応じて、個別活動の時間と少人数のグループ活動の時間を設定しています。	ご利用者様の放課後等デイサービス計画に基づき、個別活動とグループ活動の時間を設定するよう心がけます。
15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行った支援の振り返りを行う	4		朝会時に必ずご利用者様について、職員間で連絡事項等確認しています。	今後も継続し、朝会時にご利用者様について職員間で連絡事項の確認を行うと共に、打ち合わせ時間を確保できるように、利用の日の前日までに、打ち合わせの時間を工夫して頂くよう努めます。
16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行った支援の振り返りを行い、気づいた点を共有している	2		終了時にご利用者様についての情報を毎朝振り返っています。	振り返り時間を確保できるように、療育の片付けや片付けよう事業所の使い方を工夫して頂くよう努めます。
17 日々の支援に際して正しい記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		サービス提供時に「指導案」を作成し、提供記録・次期への予定を記載しています。	今後も継続してサービス提供記録の記載を続けてまいります。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを判断している	4		半期に1回保護者様と相談を実施し、個別支援計画の見直し、作業を行っています。	今後も継続して、半年に1度のモニタリングの実施を継続してまいります。
19 ガイダンスの原則を基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	3		放課後等デイサービス計画に基づき、ご利用者様に合わせた活動設定をしております。	今後も、放課後等デイサービス計画に基づき、ご利用者様に合わせた活動の提供を行います。
20 障がい児放課後支援事業所のサービス提供を確保し、その日の状況に応じて職員も出勤もふさわしいが参加している	3		基本的に児童発達支援管理責任者が出席しています。急病の際には、担当職員も出勤することがあります。	今後も可能な限り、サービス担当者会議に参加し、連携に努めます。
21 学校の連携有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	2		所属がかわる学校は、他施設でサービス計画の共有や、療育の見学、連携関係の構築など連携を行っています。	今後も、個別の放課後等デイサービス計画の共有や療育の見学を通じて、可能な限りご利用者様が所属されている関係機関との連携に努めます。
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			医療的ケアが必要な方のご利用がありません。	
23 放学期に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1		小学校4年生から高校3年生までの方を対象としている為、対象者がいません。	
24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から離れる児童や保護者等が居る場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3		小学校3年生までの方のサービスのため対象者がいません。	
25 児童発達支援センターや発達障がい支援センター等の情報と連携し、知見や研修を受けている	2		外部の大学の教授や法人内の職員からの知見や情報を受けています。	地域の専門機関との連携に努めます。
26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2			市町村の委託事業であり、個別療育の観点から積極的な交流は行っていませんが、必要に応じて連携していきたいと考えています。
27 「地域自立支援」協議会等へ積極的に参加している	1		地域の自立支援協議会の子ども部会や、ホウメイルなどに、法人として参加しています。	今後も可能な限り、参加していきます。
28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について連携を密に行っている	4		ファイルに療育で使った内容を綴じてお持ち帰りいただくことで、療育での課題を把握し、次の予定を記入する時に保護者様からの連絡を迅速に受け、日々の様子や情報共有を図っています。	今後も、保護者様とお子様の状況や課題について共通理解を図ってまいりたいと思います。
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してアンケートやミーティング等の支援を行っている	3		年5回保護者研修を実施しています。	保護者研修の他に、茶話会を実施し、家族支援を提供していきたいと思っています。
30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3		重要事項に明記し、契約時に説明しています。	今後も、説明に努めます。
31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、必要な支援を行っている	4		療育の中で、保護者様に日々の様子について相談を受け付け、必要に応じて療育相談を実施しています。	今後も、療育の中で情報共有や療育相談を通じての支援を継続してまいります。
32 子どもの発達を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を促している	1		保護者研修の中で、グループワークなど、保護者同士の関わりを促す活動も取り入れています。	保護者研修の中でグループワークを設定する他、茶話会を実施し、保護者同士の連携を促していきたいと考えています。
33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4		苦情受付窓口として児童発達支援管理責任者が対応しています。第三者委員を設けるなど対応もしております。	今後も、説明に努めます。
34 定期的に情報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		事業所新聞や法人の機関紙を定期的に発行しています。	今後も事業所新聞や機関紙を通じて情報の発信に努めます。
35 個人情報十分注意している	4		鍵付きのロッカーに個人ファイルを保管しています。建物全体は、セキュリティサービスに加入しています。	今後も取り組みを継続してまいりたいと思います。
36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		PEOSの手法を用いて意思疎通を図ったり、連絡ノートを通じて保護者様とのやり取りをしています。	今後も取り組みを継続してまいりたいと思います。
37 事業所の行事や地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2		事業所としての行事はありませんが、「施設見学会」を1年1回実施し、療育事業に「興味のある方」向けに、事業所を開放しています。	事業所としての行事はありませんが、地域の自治体や子育て支援センターに積極的に参加するなど、地域の方との連携を促してまいりたいと思います。
38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3		1月1回の避難訓練を実施しています。また各種マニュアルを作成し、ファイリングして保護者様に届けています。	保護者様にマニュアルについて広く周知できるように努めます。
39 非常災害の発生に備え、定期的な避難、救急その他必要な訓練を行っている	4		月に1回事業所職員で、地震や火災、防犯に対しての避難訓練を実施しています。	今後も取り組みを継続してまいりたいと思います。
40 虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応している	3		法人内での研修やミーティングでの他職員の研修を積極的に進めています。	今後も取り組みを継続してまいりたいと思います。
41 どのような場合にも子どもを必ず身体拘束を行わずに、継続的に決定し、子どもや保護者に事前十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記している	1			法人全体では身体拘束マニュアルがあります。今までに対象となったことはありませんが、必要な時にはマニュアルに沿って対応させていただきます。
42 食物アレルギーのある子どもに対して、医師の指示書に基づき対応がとれている	2		当事業所で食事サービスは実施していません。契約時に、アレルギー調査書を保護者様にお渡しし、アレルギーがないかどうかを確認しています。	今後も確認の実施に努めたいと思います。
43 ヒヤリハット事例書を作成して事業所内で共有している	3			ヒヤリハットについて、録音などを進めて、事業所全体で確認していきたいと思っています。